

## 第53回近畿地区国立大学体育大会（柔道）実施要項

- [1] 競技日程 平成27年8月10日（月）
- [2] 競技会場 京都市武道センター  
（〒606-8323 京都市左京区聖護院円頓美町4-6-2  
TEL : 075-751-1255）
- [3] 競技次第
1. 開会式 10:00～  
開会の辞 競技委員長  
優勝杯返還 京都大学  
競技上の注意 審判長
  
  2. 競技 10:15～
  
  3. 閉会式  
成績発表 審判長  
表彰 競技委員長  
閉会の辞 競技委員長
- [4] 大会役員
- |       |               |
|-------|---------------|
| 競技委員長 | 成瀬 元（京都大学）    |
| 専門委員  | 藪根 敏和（京都教育大学） |
| 総務委員  | 小島 光明（京都大学）   |
|       | 嶋村 智（京都大学）    |
|       | 川野 裕介（京都大学）   |
|       | 森 壮輝（京都大学）    |
- [5] 競技役員
- |     |                 |
|-----|-----------------|
| 審判長 | 村上 忠行（京都府柔道連盟）  |
| 審判員 | 橋本 禎万（京都府柔道連盟）  |
|     | 土井 忠行（京都府柔道連盟）  |
|     | 安藤 力（京都府柔道連盟）   |
|     | 松室 重光（京都府柔道連盟）  |
|     | 柴田 幸雄（京都府柔道連盟）  |
|     | 安田 実久雄（京都府柔道連盟） |
|     | 古川 博史（京都府柔道連盟）  |
|     | 吉田 進（京都府柔道連盟）   |

西村 信一（京都府柔道連盟）

林 弘典（京都府柔道連盟）

## 〔6〕学 生 役 員

学 生 委 員	釜江 祥希
総 務 係	嗟峨 健史
受 付 係	関 拓弥
競 技 係	原之園 勝
救 護 係	谷岡 あかね
計 時 係	京都文教高等学校柔道部部員
記 録 係	京都文教高等学校柔道部部員

## 〔7〕実 施 要 項

1. 参加申込 締切期日 平成27年6月12日（金）必着

(1) 申 込 先

大会事務局 京都大学 教育推進・学生支援部 厚生課 課外活動掛  
〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
(TEL 075-753-2514, 2504)

(2) 参加資格

(ア) 本大会規程第13条適用

(イ) 選手は医師の診断により大会参加が適当と認められた者で、当該大学長の承認のある者に限る。

(3) 参加人員

(男子) 1大学1チームとし、1チームは団体戦10名以内、個人戦2名以内を登録する。

(女子) オープン参加とする。

(4) 申込方法・・・所定の依頼方法（参加申込み）により提出すること。

2. 競技方法

(1) 試合方法

○男子団体戦

(ア) 1チーム10名中、7名により試合を行う。（オーダー表は、試合開始10分前に本部に提出すること。）

(イ) 試合時間は、すべて4分とする。

(ウ) 出場校の多少により、3校又は4校ブロックに分けて行う。

(エ) 前回（第52回）の上位3校又は4校をシードとし、シード校と他校を抽選により、各々のブロックに分ける。

(オ) 試合は各ブロックでリーグ戦を行い。各ブロックの勝者でリーグ戦、あるいは決勝トーナメント戦を実施する。決勝トーナメント戦を行った場合は、3位決定戦を行う。

(カ) 勝ちの内容は、その順を「一本」「技有」「有効」「僅差」の4種類とし、それに満たない場合は「引き分け」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり・有効）がない、又は同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。1差であれば「引き分け」とする。

(キ) 同点の場合は、内容判定とする。

(ク) 勝者、内容とも同一の場合は、「引き分け」の選手から抽選で1組を選び、時間無制限によるゴールデンスコア方式によって勝敗を決する(先に「有効」以上の技評価を得た選手が勝ちとなり、先に「指導」を与えられた選手が負けとなる)。

○男子個人戦

(ア) 試合時間は決勝戦のみを5分、他は全て4分とする。

(イ) 延長戦になった場合は、ゴールデンスコア方式にて必ず勝負を決定する。

○女子個人戦

(ア) 試合時間は決勝戦のみを4分、他は全て3分とする。

(イ) 延長戦になった場合は、ゴールデンスコア方式にて必ず勝負を決定する。

(2) 審判規定・・・国際柔道連盟試合審判規定による。その他は審判会議で申し合わせる。

(3) 審判・・・京都府柔道連盟に委嘱する。

3. 表彰・・・3位までとする。

4. その他

(1) エントリーした選手の変更は、試合開始の3日前までに大会事務局に届け出ること。

(2) 試合開始30分前に、選手の出席を本部に届け出ること。

(3) オーダー表は、試合開始10分前までに本部に提出すること。

(4) 棄権する場合は、試合開始の3日前正午までに大会事務局及び相手校に連絡すること。

## 試 合 規 定

1. 1チーム10名中、7名により試合を行う。

2. 試合時間は、男子団体戦及び個人戦とも、すべて4分とする。ただし、個人戦の決勝戦のみ5分とする。女子個人戦は3分とする。ただし、決勝戦は4分とする。

3. 団体戦は、

① 出場校の多少により、3校又は4校ブロックに分けて行う。

② 前回の上位3校又は4校をシードとし、シード校と他校を抽選により、各々のブロックに分ける。

③ 試合は各ブロックでリーグ戦を行い、各ブロックの勝者でリーグ戦あるいは決勝トーナメント戦を実施する。決勝トーナメント戦を行った場合は、3位決定戦を行う。

4. 試合開始30分前までに、選手の出席を本部に提出すること。

5. オーダー表は、各試合開始10分前に本部に提出すること。

6. 参加申込み者以外の出場は認めない。締切後変更する必要があるチームは、大会開始3日前までに大会事務局に申し出ること。

7. 棄権する場合は、試合開始の3日前正午までに大会事務局及び相手校に連絡すること。

8. 審判は、京都府柔道連盟に委嘱する。

9. 審判規定は、国際柔道連盟試合審判規定による。その他は審判会議で申し合わせる。

10. 勝ちの内容は、その順を「一本」「技有」「有効」「僅差」の4種類とし、それに満たない場合は「引き分け」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり・有効）がない、又は同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。1差であれば「引き分け」とする。同点の場合は、内容判定とする。勝者、内容とも同一の場合は、「引き分け」の選手から抽選で1組を選び、時間無制限によるゴールデンスコア方式によって勝敗を決する（先に「有効」以上の技評価を得た選手が勝ちとなり、先に「指導」を与えられた選手が負けとなる）。男女とも個人戦の試合には、延長戦になった場合は、ゴールデンスコア方式にて必ず勝負を決定する。

### **総 合 優 勝 制 度 得 点**

1位－10点、2位－7点、3位－5点、4位－4点

ただし、同順位の場合は、下位順位の得点との合計を平均する。